



(別添4) イノベーションの構成要素としての IPAの個々の取組・事業アウトプット

2026/06/22

独立行政法人

情報処理推進機構

戦略コミュニケーション部

展示の趣旨： 「技術の普及」を担う存在から「社会全体の変革を支えるプラットフォーム」へと進化したIPAの姿とそこから生まれたイノベーションが実装された近未来の社会を可視化する

- メインブース**
- IPAの個別の事業・取組がイノベーションの要素として相互につながり、実装された近未来の姿が可視化され、また各要素に関連性があることがわかるもの
 - IPAとの共創を通じて社会が変化していくことのメタファーとして、来場者のアクションにより、視覚的に変化する参加型インスタレーションとして企画・制作されたもの
-

- サブブース**
- メインブースで訴求された「社会全体の変革を支えるプラットフォーム」としてのIPAの各事業内容・アウトプット等が、「イノベーションを設計するための構成要素」として紐づいていることを可視化するもの
 - イノベーションを機能させる要素としての、IPA Digital Commons、IPA Cyber Security、IPA Frontier、IPA Academyについての来場者の理解を促進するもの

注) イノベーションを機能させるIPAの6つの構成要素の1つずつを各ブースで表現する。

< 6つの構成要素 >

(1) Social System Design Architected by IPA ▶ メインブース

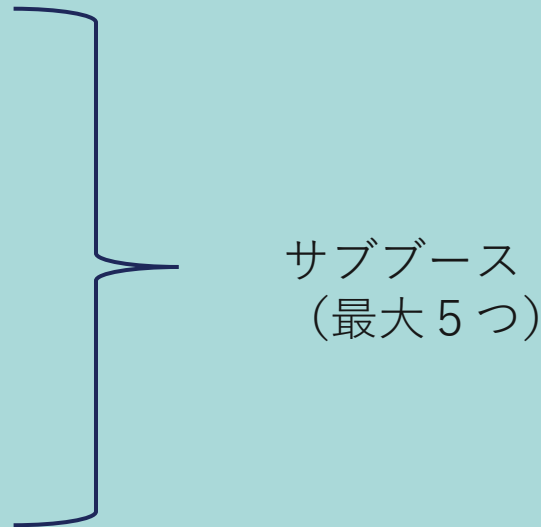
(2) AI Trust Framed by IPA

(3) IPA Digital Commons

(4) IPA Cyber Security

(5) IPA Frontier

(6) IPA Academy



社会に新たな価値を提供するための設計機能が(1)であり、そこで設計されたものが実装され、公共財となったものが(3)となります。この関係性に基づき、いったん(1)と(3)をまとめたものが次ページ以降の表となります。その他の構成要素のまとめは後日契約事業者様と行いますが、現時点でIPA BookおよびIPAホームページに記載された事業情報をご参照いただくことも可能です。

■メインブスのインスタレーションに含めたい候補となるIPAの取組（この取り組みが社会実装された様子を表したい）

（１）Social System Design Architected by IPA → （３）IPA Digital Commons



（注）経済産業省の政策のひとつであるデジタルライフライン全国総合整備計画のアーリーハーベストプロジェクトとして始動。

	IPA公式サイトでの該当ページ	プレスリリース	説明
アーキテクチャ設計	https://www.ipa.go.jp/dadc/about.html		政府・民間の依頼に応じ、産学官の関係者を柔軟かつ円滑に巻き込みながら、グローバルな動向を踏まえ、協調領域を中心に中立透明にSociety5.0を実現するためのアーキテクチャを設計。高度な知見をDADCに蓄積し、人材育成にもつなげていく。
インフラ管理事業者向けインフラ管理DXガイドライン （注）	https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/guidelines/infrastructure-management-dx-guideline.html		通信、電力、ガス、上下水道等の設備データをデジタル化して相互に共有できるようにし、業務のデジタル完結、リモート完結、自動化等を目指すアプリケーションを含めた取組。
ドローン航路に係るガイドライン （注）	https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/guidelines/uaslines-guidelines.html	https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20250714.html	ドローン航路サービスの品質確保、飛行許可・承認申請の事前手続き簡略化に係る適合性評価の基準明確化、相互運用性の確保など、ドローン航路全国展開を推進。
自動運転サービス支援道（注）	https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/reports/vehicle-data-collaboration-system-specification.html		道路インフラに必要な機能等の検証、安全運転支援に関する情報配信、物流等のデータ連携などに、サービス実現に向けた課題検証を進め、自動運転サービス支援道の実装を目指す。
CMP(Chemical and circular Management Platform)	https://cmp-consortium.com/cmp		グローバルで導入・強化が進む製品含有化学物質規制への対応するため、CMPでは、川上企業から川下企業をシームレスにつなぐ仕組みにより、企業間の情報伝達の精度向上と効率化を目指す。
RMP(Recycle Management Platform)	https://cmp-consortium.com/cmp		CMPの製品に含有する化学物質情報などを活用し、資源循環情報の可視化することにより、リサイクル材の活用を促進し、サーキュラーエコノミー実現を目指す。
Open Data Spaces リファレンスアーキテクチャ	https://www.ipa.go.jp/digital/opendataspaces/ https://open-dataspaces.gitbook.io/ods-docs/jp/ods-ram/v2	https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20251015.html https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2026/press20260401.html	国際相互運用性の確保に向けたオープンで中立的なデータスペースの技術コンセプト及びそれを構成する技術仕様。ウラノス・エコシステム関連の取組、DSAが推進するDATA-EX、RRIにおける産業データ連携など、主要なデータスペースの取組がOpen Data Spacesの技術的コンセプトのもと連携。

■メインブースのインスタレーションに含めたい候補となるIPAの取組 (この取り組みが社会実装された様子を表した)
 い) (1) Social System Design Architected by IPA → (3) IPA Digital Commons



	IPA公式サイトでの該当ページ	プレスリリース	説明
産業技術動向の調査・分析 (DX動向等含む)	https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/index.html		「Society 5.0」の実現やデジタルエコシステムの創出に貢献するため、IPAは、検討会の運営、国内外のIT動向に関する調査・分析を行い、その成果をディスカッション・ペーパー、各種レポート等として公開。
情報セキュリティ白書	https://www.ipa.go.jp/publish/wp-security/2025.html	https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20250910.html	IPAが毎年刊行する報告書で、サイバーセキュリティ分野におけるインシデントや被害の実態、脅威動向、最近の注目事象、国内外の政策や制度、調査報告書、セキュリティ関連組織が提供する各種セキュリティ対策向けの施策など、多岐にわたる内容を網羅。産業界、学界、一般の皆様にはサイバーセキュリティ対策の推進や学習の参考資料として活用いただいている。
情報セキュリティ10大脅威	https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2026.html	https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2025/press20260129.html	「情報セキュリティ10大脅威 2026」は、2025年に発生した社会的に影響が大きかった情報セキュリティの事故や攻撃の状況などから、IPAが脅威候補を選定し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約250名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が審議・投票を経て決定したもの。各脅威について手口や被害事例や対策を解説した資料も公開。

【知の集積と共有】の例

産業界・行政・アカデミアの知見を集め、共有し、理論と実践の往復を通じて社会と産業の設計へと反映する。